

平成28年度 第9回 定例会

会議録

えびの市教育委員会

えびの市教育委員会
平成28年度 第9回 定例会 会議録

1. 日 時 平成28年12月12日 月曜日 午前8時30分 から 午前9時43分まで
2. 場 所 えびの市役所本庁 教育委員会 会議室
3. 出席委員 萩原 和範 教育長 松元 國治 委員 (教育長職務代理者)
御手洗 美恵子 委員 宮田 慶子 委員
4. 欠席委員 東蕨 安美 委員
5. 事務局 学校教育課長 川野 利光 社会教育課長 領家 修司
学校給食センター所長 中満 敦雄
学校教育課長補佐兼総務係長 大河平 隆公 学校教育課主幹 盛満 政仁
学校教育課指導主事 堀 真朋
6. 議題 平成28年度第8回教育委員会会議録の承認について
教育長及び教育委員からの報告・提案事項について
議事
(1) 議案第22号 平成29年度えびの市一般会計予算について

	(開会 午前8時30分)
萩原和範教育長	ただ今から、えびの市教育委員会 平成28年度第9回定例会を始めます。会議録署名委員の承認について、えびの市教育委員会会議規則第16条第1項の規定により、会議録署名委員を、宮田 慶子 委員にお願いしたいと思いますが、よろしいでしょうか。
出席委員	はい。
萩原和範教育長	続いて、前回の会議録の承認について、学校教育課長から概要の朗読をお願いします。
川野利光学校教育課長	(第8回 教育委員会会議録の要点を朗読)
萩原和範教育長	会議録について、何かございませんでしょうか。
出席委員	(ありません。)
萩原和範教育長	なければ、会議録については、承認ということでよろしいですか。
出席委員	はい
萩原和範教育長	続いて教育長・教育委員からの報告提案事項となっておりますが、委員から何かないでしょうか。
松元國治委員	私の方からお願いですが、現在第5次えびの市総合計画後期基本計画について審議会が立ち上がっております。私が教育委員会代表で参加しており、第5次えびの市総合計画という平成24年度から33年度までの10年計画が出されており、これが5年経過しますので、今年審議会を設けて、前期の5年間を反省しながら後期の5年間の指針について、審議してほしいと諮問があったものです。これまで2回審議会を開いて、今後5年間の計画素案ができあがっており、この中で教育委員会に関するページが10ページほどあります。5年間の見通しについて書いてありますし、企画課と各事務局が調整して出されたものだろうと思いますが、これが今パブリックコメントとしてホームページにも出されていますので、委員の皆さんは自宅ででも見ていただいて、内容や目標値について何かあれば企画課か教育委員会事務局でもいいと思うので、出していただければと思います。よろしくお願いします。
萩原和範教	今、ありましたとおり、何かあれば課長にでも結構ですので、連絡いただければと思います。

育長	<p>私の方からは、昨日行われた第九の公演会とイルミネーションの点灯式について、両方盛大に行われまして、第九もほぼ満席でした。その後、イルミネーションの点灯式が行われました。市民が手作りで始めたものでして、年々大きくなつていけばいいと思いました。先生方もボランティアとして来ていただきました。子どもたちの吹奏楽の演奏や、第九の公演のメンバーによるコーラスもあり、市長のあいさつもいただきまして、よかったです。</p> <p>それと、教育委員の選任ということで、今回の議会にえびの市末永の貴嶋俊介さんを委員とする議案が出され、承認をいただきまして、2月9日より教育委員就任ということになりましたので、その際には、皆さんに紹介したいと思います。以前は消防署の方に勤務されていた方です。</p> <p>それと、30人学級に関するアンケートの結果が出ておりますので、盛満主幹の方からお願ひします。</p>
盛満政仁学校教育課主幹	<p>アンケートについては、30人学級編成を行っている学校のみを対象としていますので、上江小中、岡元小は対象外になります。全体的に高い評価をいただいているが、低い評価をつけている保護者もなかにはいらっしゃいます。これが30人学級に対するものなのか、学校、学級に対するものなのかは、あいまいなところがあります。保護者、教職員ともに極めて高い評価を全ての項目にいただいている。特に中学校の教職員からは、非常に高い値を得ています。考察については、昨年度と同じような形で、全ての項目でいいですが、意見として、昨年度より増えているのが、経験不足の先生方が増えており、その先生に対し、指導力を求める意見が保護者、教職員ともに増えていると感じました。全体的には、今後も30人学級を続けてほしいという意見が多かったと思います。それと特徴的だったのが、同じアンケートを去年、今年と続けてましたが、保護者については全体的に去年より評価が上がってきていますので、30人学級についてそのよさを感じてきているのが分かると思います。これは保護者が30人学級のよさを直接的に感じているということもですが、学校にお札を言ったのですが、学校が啓発したことが保護者に伝わっているということを私は感じました。保護者に啓発をして、この成果を保護者も感じ取っているので、アンケートにも現れていると思いました。さらに特徴的なのが、教職員の方です。平成27年度は小学校の方が全て高い値だったのが、28年度は下がっています。逆に中学校は全ての項目で低かったのが、28年度は全て上がりまして、中学校と小学校が逆転しています。これについては、教育委員会の方も30人学級について1年間を検証していく中で、小学校と中学校の捉え方の違いについて、アンケートをする前から感じることがありました。26年度、27年度と30人学級をするなかで、学級担任制において一学級の児童数が減ったことによる効果をまず実感したと思います。その後、40人という学級を2つに分けるという良さもあるけれども、経験が豊富な先生とそうでない先生とで分けることの課題も一方で出てきたと思います。経験という言葉を指導力に置き換えると、指導力のある先生が一人で40人学級をもつと、指導力のある先生とそうでない先生とで分けて受け持つでは、そこで20・20と分けて、そこに成果があるのか、逆に課題はあるのではないかということを、小学校が今感じ始めていると、本年度途中に私たちも感じました。授業を見ても明らかな違いがあります。経験豊富な先生が一人で指導するの</p>

	<p>と、経験が不十分な先生に分けて指導するのでは、やはり経験がある先生がやつた方が良かったのかなと思われるところもあります。ではこの30人学級というのをうまく使って、学級という枠や教科という枠にとらわれることなく、極端な話になりますが、小学校でも教科担任制でいいので、学級をわけてもやはり指導力のある先生が中心となってその学年の責任を持つとか、いくつかそういう提案をしました。来年度から改善するのではなくて、今年度やれるところはやっていこうと提案していきながら、工夫しているところを教育委員会としても集約して、来年度この成果をみながら、さらにやっていくということで、取り組んでいます。アンケート結果にはまさに、そのとおりだなと思っています。なぜ、中学校は評価があがってきてているのかといいますと、教科担任制をとっていて、教科を指導するうえで先生不足が減っているという成果もですが、職員が増えたことの良さを中学校の方が小学校よりも感じ取っているのではないかと思います。なぜかというと、生徒指導面で中学校になると発達段階でやはり難しくなってきますが、そのときに職員が多いと細かな対応がしやすいということがあります。それと、部活動では、他の市町村では顧問がいなかったり、負担感が大きいという問題がありますが、職員が増え、しかも若い先生が増えたことで、その良さを感じることができるので、中学校のほうが年々評価が上がっているのではないかと思います。とにかく、30人学級については、成果を感じながら、課題については改善しながらやつていかないといけないと思っているところです。</p>
松元國治委員	よくわかりました。小学校で評価が下がっているというのは30人学級をするなかで、大きな課題だと思います。ただこれは、主幹が言われるような状況であれば、各学校で差があるのではないかと思いますが、どうでしょうか。
盛満政仁学校教育課主幹	確かに差はあります。それが顕著に出ている学校もありますが、学校だけでなく、学年による違いもあります。例えば飯野小学校が全部同じかというとそうではなくて、飯野小学校の学年で違っていたりと、いろんな捉え方があると思います。
松元國治委員	もうひとつは、30人学級の常勤講師を学級担任にしない形というのは、人数的にできないですか。
盛満政仁学校教育課主幹	全て学級担任をさせないということは、無理です。ただし、30人学級で雇用しているけれども、学担をしていない先生もいます。理科専科とかです。それは、校内の構成で決まるところです。
松元國治委員	分かりました。講師の指導力の差というのが、評価にでているということですね。
萩原和範教育長	校長の意識次第というのもあります。主幹が言いましたように、学校のある学年をどうしていくかという、もう少し踏み込んだ、例えば学級担任にして、クラスは分けてますが、指導

	力のある先生と一緒に授業をして、TTで組ませるとか、この教科はそうするとか、工夫、改善といったものを前向きに捉えてどんどん先手をうつていけば、もっと学力も生徒指導面での問題も減っていくのではないかと思っています。それを今年度途中から、そういう方向性でやってきましたので、それが今後どのように機能していくかを気を緩めないで教育委員会も指導を深めていかないと、せっかく30人学級をしていますので、効果を示さないと、学校に任せっぱなしでもいけません。30人学級も、3年目になりますので、そろそろ最終的な結果を出さないといけないと思っています。
松元國治委員	来年度の予算の中で、30人学級にきていただく先生は、経験がないし、若いしということで、指導力もないことは、当然分かっているわけですが、それをどういう形で補っていくかというところを教育長が言われるよう、任せっぱなしのところでは、当然差が出てくる可能性があると思うので、学校全体で取り組んでいかないと、このような弊害がでてくると思います。
萩原和範教育長	他に委員からありませんか。
松元國治委員	イルミネーションはいつまで、やっていますか。
領家修司社会教育課長	25日までです。18時から22時までです。25日にメインイベントがあります。
宮田慶子委員	幻想的なものになっているでしょうか。
萩原和範教育長	そうです。今年は予算が足りなくて、まわりに迷惑をかけたところもありました。来年度は、来ていただいた方に少しでも満足してもらえるようにしていきたいと思います。スタッフの方が一所懸命してくれましたが、予算面で非常に厳しかったです。
松元國治委員	(野尻のように)民間でしていないから、単独だけでは厳しいかもしれません。コーラスとか何かイベントと組み合わせるなど工夫が必要だと思います。
萩原和範教育長	それでは、審議に入ります。議案第22号「平成29年度えびの市一般会計予算について」を議事とします。事務局から説明をお願いします。
川野利光学校教育課長	(説明)

萩原和範教育長	学校教育課分について、何かありませんか。
松元國治委員	30人学級についてですが、7千万前後の予算をお願いすることと、3年目に入るということと、これだけの予算を使うわけですが、自分たちはこれだけ実績が上がってきてているということを分かっていますが、外部の人にもこれだけの結果がでているんだということを、今日、主幹が準備してくれたものでもいいので、3年を目安として、何らかの形で公開すべきではないかと感じています。例えばどこかの学校で、授業参観や公開授業でもして、発表をした方がいいのではないかと思います。あまりお金をかけない形で、宣伝も兼ねてできればと思います。それと、飯野高等学校支援事業については、予算が増えていますが、都農高校の件がありますので、先の見通しも考えて、力を入れていかないといけないと思います。
萩原和範教育長	他になければ、社会教育課お願いします。
領家修司社会教育課長	(説明)
松元國治委員	文化センター運営事業について、緞帳の修繕などが必要と聞いていますが、今回の予算でどの程度修繕が進むのか、それと体育施設管理事業について、高校総体が宮崎県で行われますが、これについて社会教育課は何か聞いていないのか、えびの市で競技が開催されれば、今の状態でできるのかどうか教えてください。
領家修司社会教育課長	文化センターの舞台装置については、28年度から3年計画で改修を進めています。29年度が2,600万程度で、3年間で終わらせる予定にしています。インターハイについては、先日連絡があつて、男子の部を都城市とえびの市で開催するという予定でしたが、バレーボール協会の方から監督会議など分散して行うことが厳しいため、都城市のみで行う方向になりました。そのため、先進地視察の旅費等も要求を見送る方向です。何か動きがあれば、補正で対応したいと思います。
萩原和範教育長	それは、何か申し入れとかしなくていいのでしょうか。この開催の件については、知事や、教育長、県議会議長に対しても要望したものなので、何かアクションを起こす必要があると思います。
松元國治委員	この件は総合計画の審議会の中でも問題になって、ぜひ誘致してほしい、開催されるときは、それなりの施設にしていこうということで素案の中にも入っています。
萩原和範教育長	やはり、小林市とも連絡調整をして、申し入れとかできないものか、何らかのアクションを起こしていかないと、市民に対しても説明をしていますので、ぜひ検討してください。

	続いて、給食センターお願いします。
中満敦雄学校給食センター所長	(説明)
萩原和範教育長	質問がなければ、これでよろしいでしょうか。
委員	はい。
萩原和範教育長	これで、議事を終了します。ここで、先日、学力調査等の結果を公表しましたので、堀指導主事から説明をさせます。
堀真朋学校教育課指導主事	今回、数値的なものではなく文章表現で学力調査等の結果を公表しました。ちなみに宮崎市は全国学力調査の結果のみ文章表現で公表していますが、このような形で出しているのは県内ではえびの市のみになります。教育長が今後こういう形で公表していくことになるだろうと先を見据えて公表したものです。
松元國治委員	全体的に小学校と中学校を比べて、中学校が伸びて小学校が伸び悩んでいる感想をもっています。そこらについて、前にも指導主事に聞いたことがありましたけれども、学習習慣の指導が徹底されていないのではないかと思いますが、家庭でもですが、学校でも学習に対する指導を徹底する必要があるという気がします。普通は小学校がよくて、中学校は下がっていくものですが、えびの市の場合は、その逆になっています。ということは、子どもたちは、ものすごく可能性を秘めていると思われますが、そこらをてこ入れしたら、30人学級を活用してでも、成果が出るんじゃないかと思います。
堀真朋学校教育課指導主事	委員が言われるとおりで、生活調査を見ると、学力と相関関係が見られます。やはり決まりを守れないとか、朝食を食べていないという項目が小学校が落ちていて、中学校は学力も上がっているという結果がでているので、今、小学校に焦点を当てて、市教委主導で学校に向いて研修会を開催しています。今週末は飯野小中学校に行きますが、てこ入れを小学校に重点的にしていることと、一部教科担制などの弾力的な運用を小学校でできないかということを、教育長の方針としてお伝えして、取組として進めているところです。
松元國治委員	文系が弱いという気がしているが、ここは思い切って小学校でも教科担任制を考えてもいいのではないかと思います。先生によっては、全教科教えるけれども、得意不得意もあるので、そこだけ入れ替えることは校長の裁量ができるのではないかでしょうか。そういう形をえびの方式を考えてほしいと思います。

堀真朋学校 教育課指導 主事	算数・数学が今まで一番落ち込んでいたところを、てこ入れしてここまで伸びている現状があります。国語で課題が見られたということで、もともと国語の指導力が高い先生が2クラス教えて、もう一人の先生はTTでつくなどの体制を今整えているところです。もうひとつは、臨時講師の先生が多いということで、その指導力を上げるということを言われているので、私たち指導主事が頻繁に学校訪問しながら、授業を見たり、アドバイスしたりして底上げをするのと、特別教科担制というふうに選択と集中をしていこうとしているところです。
松元國治委 員	分かりました。よろしくお願ひします。
萩原和範教 育長	事務連絡等をお願いします。
大河平隆公 学校教育課 長補佐兼総 務係長	学校教育課から、次回教育委員会を来年1月5日午後1時30分からお願ひします。午前中は成人式となっております。30人学級の講師採用に伴う面接を1月19日から21日（木、金、土）までの3日間予定しています。続いて、平成28年度西諸市町教育委員会連合会後期研修会がえびの市の担当になります。2月9日に新委員の就任があり、その日に教育委員会を計画していることもあります、この日に集約して開催する方向で考えています。懇親会も行います。また、感謝の集いが2月17日に計画されております。
	社会教育課から、成人式を1月5日に行います。10時開式、委員さんは登壇していただきますので、お願ひします。市町村駅伝対抗駅伝の結団式は終了しました。大会は1月9日に行われます。
川野利光学 校教育課長	先ほどの29年度の予算の中で、就学援助の拡充を計画しているのが、PTA会費、卒業アルバム費、新入学学用品費になります。
御手洗美恵 子委員	人数はどれくらいになりますか。
川野利光学 校教育課長	卒業アルバム費が26人程度、PTA会費が126人程度を見込んでいます。
萩原和範教 育長	それでは、以上で えびの市教育委員会 平成28年度 第9回 定例会を閉会します。 (閉会 午前9時43分)